

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90238	東洋工芸史研究 (奇数年度開講)	4単位 通年	1・2	講義	柳悦州 (非)

■テーマ 染織をとして東洋の工芸の特質と意義の一端を明らかにする。

■授業の概要

織物を織ることは、人びとの生活と密接に関わってきた。この授業では、沖縄とラオスやシルクロード沿い諸国の織機構造や染織技術について、歴史的変遷や文化的背景を視野に入れながら検討しながら、東洋の工芸の意義について研究していく。

■到達目標

- ・東洋における工芸は、時代とともに変化していくことを説明できる。
- ・西洋における産業革命が、東洋においてどのような影響を与えたのか説明できる。
- ・東洋の美意識について理解し説明できるようになる。

■授業計画・方法

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. ガイダンス | 16. 日本の織物 (江戸時代) |
| 2. 織物素材 | 17. 日本の織物 (江戸時代後期) |
| 3. 繊維素材から糸を製作する方法 (苧麻、綿) | 18. 日本の織物 (明治～戦前) |
| 4. 繊維素材から糸を製作する方法 (絹、羊毛) | 19. 沖縄の織物 (王朝時代) |
| 5. 織物と織機 | 20. 沖縄の織物 (明治～戦前) |
| 6. 経糸の整経方式 | 21. 沖縄の織物 (戦後) |
| 7. 織機の機能と構造 | 22. 奄美の織物 |
| 8. 織機の歴史的変遷 | 23. 沖縄の腰機と紋織 |
| 9. 東洋の織機の特徴 | 24. 沖縄の絣 |
| 10. 産業革命 | 25. 沖縄の緯絣 |
| 11. ジャポニズム | 26. 本土と沖縄の絣 |
| 12. ラオスの織物 (平地ラオ族) | 27. 西洋の美意識、日本の美意識 |
| 13. ラオスの織物 (山地少数民族) | 28. 沖縄の美意識 |
| 14. イラン、ウズベキスタンの染織 | 29. 戦後沖縄の工芸と美意識 |
| 15. トルコ、シリアの織物 | 30. まとめ |

■定期試験および解説・まとめ

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・織物と織物技術に関する基礎的な知識が必要である。
- ・次回の講義内容に関するキーワードを示す。受講生はそのキーワードについて予習を行い授業に望むこと。
- ・キーワードをもとにディスカッションを行いながら理解を深めていく。
- ・定期試験は行わないが、4回のレポート提出が求められる。

■成績評価の方法・基準

□方法 授業への参加状況 (20%)、レポートの提出状況(30%)、ディスカッションの内容 (50%)

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究所 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□参考文献

『沖縄織物の研究』田中敏夫・玲子 京都書院

『世界の織機と織物』吉本忍編著・柳悦州作図 国立民族学博物館

『100年前の写真で見る世界の民族衣装』ナショナル ジオグラフィック編